

2022.8.18

## 2,687 名が回答した「あなたと転職のリアル」アンケート結果を公開

転職時に背中を押してくれた人 1 位は「家族」、転職は良い経験になったと 93%が回答  
 転職を全く考えていない人は 4%。どんな会社にもまずは 3 年は勤めるべきと考える人は 11%。



ビジネス SNS 「Wantedly」を運営するウォンテッドリー株式会社は、Wantedly のリリース 10 周年を記念して実施した「あなたと転職のリアル」アンケートの結果を公開します。

### 「あなたと転職のリアル」について

テクノロジー・インフラの進化や、様々な要因で社会環境が目まぐるしく変わる中、この 10 年間で大きく変化した働き方、仕事に対する価値観。そんな中、はたらく全ての人にとってのキャリアチェンジの契機であり、大きな転機となりうる「転職」は、この 10 年間で急速に普及しました。

そんな「転職」の 2022 年時点での「リアルな現状」を理解すべく行った本アンケートには、2,687 件の回答が集まりました。今を生きる人々は「転職」をどのように捉えているのか、何が彼ら、彼女らの背中を押したのか、など様々な観点から紐解きました。

#### 【調査サマリー】

##### ◆転職は全世代で当たり前の選択肢に。転職が良い経験になったと 93%が回答

- ・転職未経験時の転職に対する印象は全世代で「いまや当たり前の選択肢なので、いつかはするのが当然」がトップ。年代別では最多が 20 代(71%)で最少は 50 代以上(55%)という結果に。
- ・転職が良い経験になったと 93%が回答。

##### ◆この先また転職したい人は 67%。どんな会社にも、まずは 3 年は勤めるべきと考える人は 11%のみ

- ・この先また転職したい、という回答は 67%※。転職をまったく考えていないという回答は 4%  
 ※「いますぐしたい」「1~2 年以内にはしたい」「いずれしたい」を合計
- ・「いますぐ転職したい」という回答割合が最多だった年代は 50 代以上(28%)
- ・「どんな会社にも、まずは 3 年は勤めるべきだ」と言われた場合、「その通りなので、聞き入れる」と賛同するという回答は 11%のみ。賛同者の割合を比較すると最多は 50 代以上(25%)で最少は 30 代(8%)という結果に。

◆**転職を決断したシチュエーション（きっかけ）1位は「頭打ち」**。転職で背中を押した人トップは「家族」

- ・転職を決断したシチュエーション TOP3 は「成長、昇給の頭打ちを感じた時(14%)」、「職場での人間関係に問題が生じた時(11%)」、「会社の方向性との違いを感じた時(10%)」
- ・転職を決断する際、背中を押してくれた人 TOP3 は「家族(47%)」、「友人(37%)」、「前職の人(28%)」
- ・「どんな言葉や行動であなたの背中を押してくれましたか？」という質問に対しては「やりたいことをした方がいいという言葉」がトップで23%。そして「転職活動に関する具体的なアドバイス(21%)」や「転職活動を応援するよという表明(16%)」が続きました。

◆**転職期間中に印象深い人にあつた事がある人は57%**。転職トラップに遭遇したことがある人は33%

- ・転職期間中に印象深い人に会ったことがあると57%が回答。
- ・転職トラップは33%が遭遇したことがあると回答。

※転職トラップとは：転職活動における、予想外の障壁・問題やだまされそうになったことを指した造語

【調査概要】

調査期間：2022年6月3日～6月10日

調査機関：自社調べ

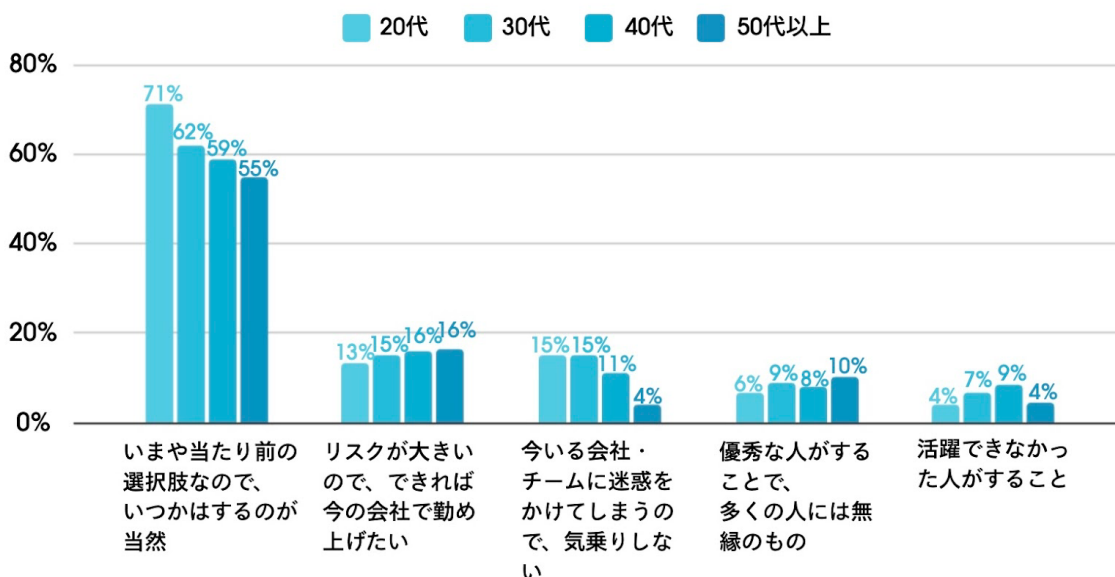
回答人数：転職経験者2,687名

調査方法：インターネット調査

**転職は全世代で当たり前の選択肢に。転職が良い経験になったと93%が回答**

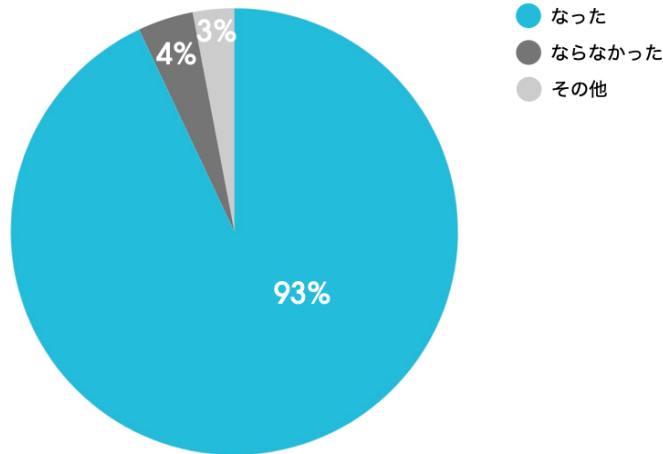
転職未経験時に転職に対して抱いていた印象について聞いた所、20代以上の全世代で「いまや当たり前の選択肢なので、いつかはするのが当然」が最多という結果に。同回答割合について年代別で比較すると最多が20代(71%)で最少は50代以上(55%)という結果に。

Q.転職未経験のとき、転職に対して抱いていた印象にもっとも近いものを教えてください。(n=2,682)



転職が良い経験になったと、全体の 93%が回答しました。

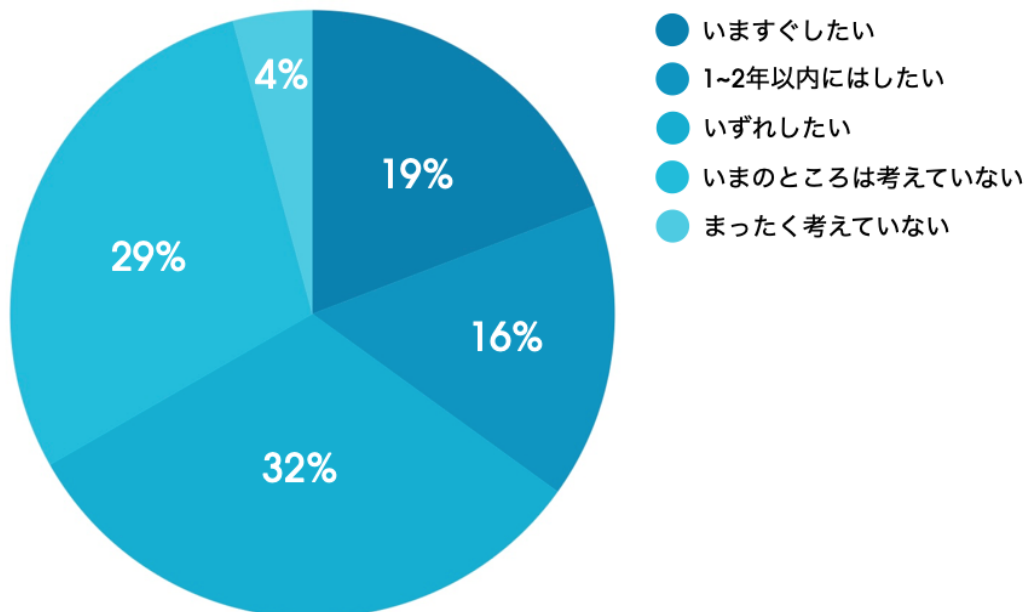
**Q.転職はあなたにとってよい経験になりましたか？ (n=2,687)**



**この先また転職したい人は 67%。どんな会社にも、まずは 3 年は勤めるべきと考える人は 11%のみ**

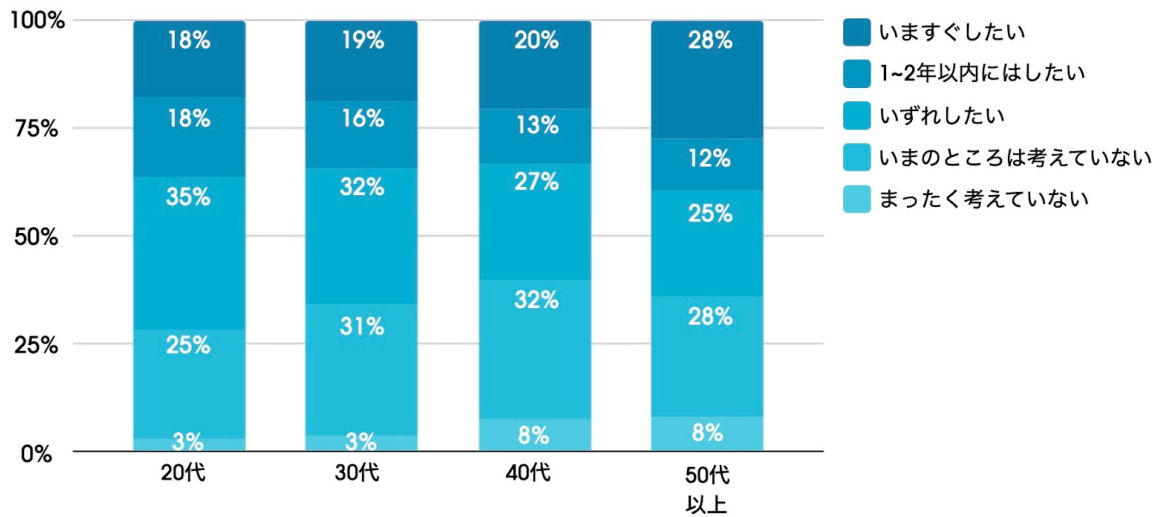
この先また転職したいと思いますか？という質問に対して「いますぐしたい」「1~2年以内にはしたい」と回答した方、つまり転職顕在層は 35%を占めており、「いずれしたい」「いまのところは考えていない」と回答した方、つまり転職潜在層は 61%を占めるという結果に。転職顕在層と転職潜在層を合計すると 96%にのぼりました。転職を「まったく考えていない」という回答は 4%のみであることから、転職前提でキャリアを考えることが一般的になってきているのだと考えられます。

**Q.この先また転職をしたいと思えますか？ (n=2,687)**



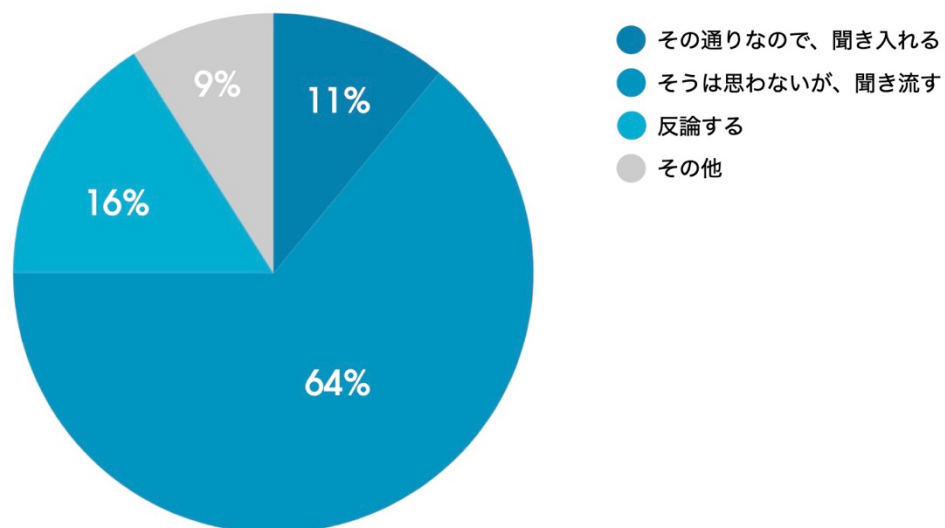
転職について、「いますぐしたい」という回答割合を年代別に比較すると、最多年代は50代以上(28%)という結果に。転職顕在層と転職潜在層を合計すると最多年代は20代(71%)という結果に。50代においては、転職未経験時に転職に対して抱いていた印象について「いまや当たり前の選択肢なので、いつかはするのが当然」と回答した割合は最少でしたが、転職意欲としては最多という逆転現象が起こっており、世代内での「転職消極層」と「転職積極層」の二極化が見受けられました。

**Q.この先また転職をしたいと思えますか？ (n=2,682)**



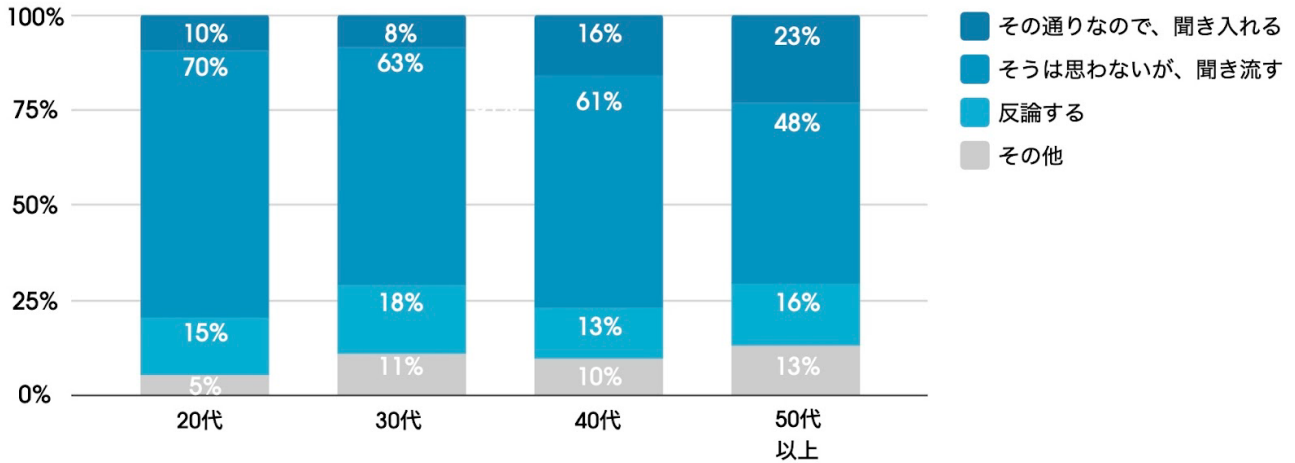
「どんな会社にも、まずは3年は勤めるべきだ」と言われたとき、「その通りなので、聞き入れる」という回答は11%のみ。「反論する」という回答が16%を占め、「そうは思わないが、聞き流す」という回答が最多で64%という結果になりました。誰もが一度は聞いたことあるような、耳馴染みのある通説が、気がつけば11%の人にしか聞き入れられないものになっている状況からも、価値観の変化が見受けられます。

**Q.「どんな会社にも、まずは3年は勤めるべきだ」と言われたら、あなたは何と返しますか？ (n=2,687)**



年代別に回答割合を比較すると「その通りなので、聞き入れる」という回答割合は50代以上が最多で23%、「反論する」割合は30代以上が最多で18%という結果に。

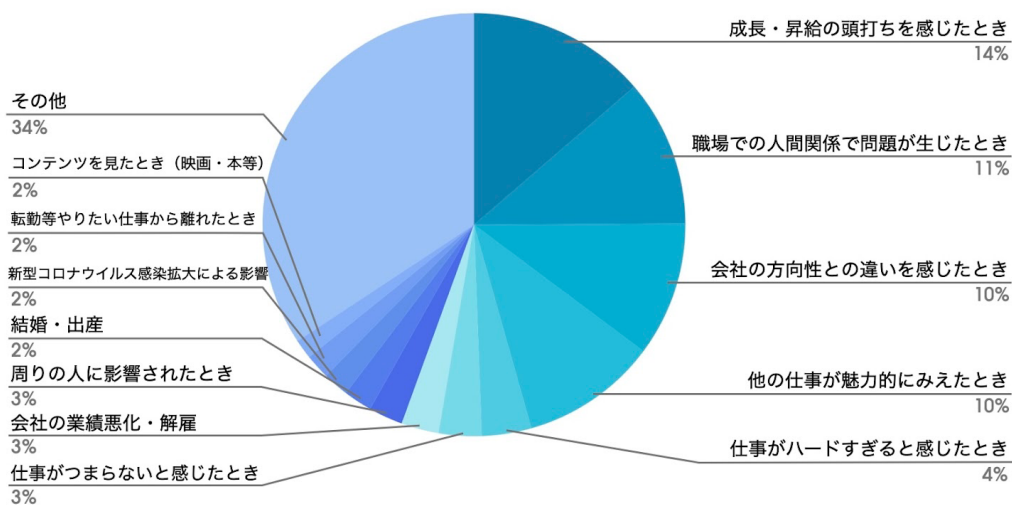
**Q.「どんな会社にも、まずは3年は勤めるべきだ」と言われたら、あなたは何と返しますか？ (n=2,662)**



**転職を決断したシチュエーション（きっかけ）1位は「頭打ち」。転職で背中を押してくれた人トップは「家族」。**

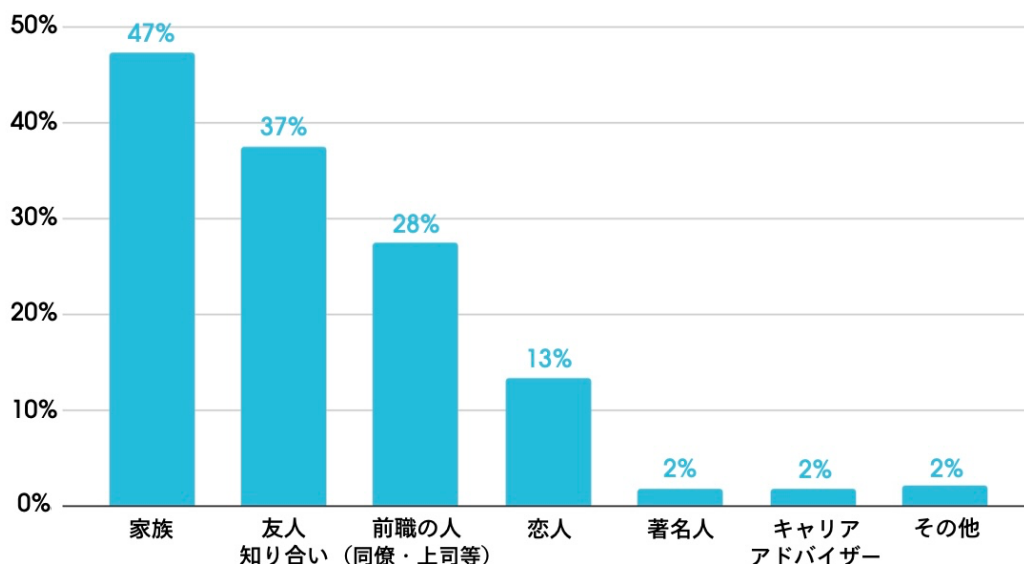
転職を決断したシチュエーション TOP3 は「成長、昇給の頭打ちを感じた時(14%)」、「職場での人間関係で問題が生じたとき(11%)」、「会社の方向性との違いを感じた時(10%)」

**Q.あなたが転職を決断した「シチュエーション」はどのようなものでしたか？ (n=2,477)**

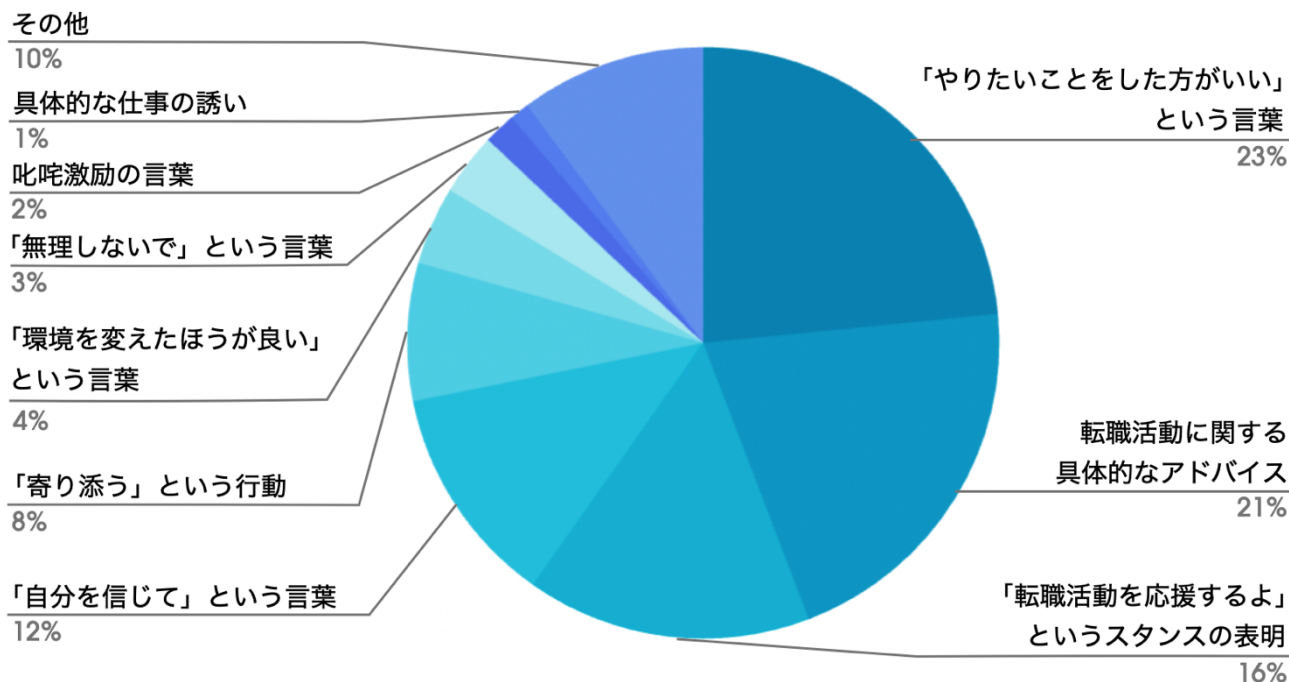


転職を決断する際、背中を押してくれた人TOP3は「家族(47%)」、「友人(37%)」、「前職の人(28%)」という結果に。

### Q.転職を決断する際、背中を押してくれた人は誰ですか？ (n=1,571)



「どんな言葉や行動であなたの背中を押してくれましたか？」という質問に対しては「『やりたいことをした方がいい』という言葉」がトップで23%。そして「転職活動に関する具体的なアドバイス(21%)」や「『転職活動を応援するよ』というスタンスの表明(16%)」が続きました。



以下が実際に寄せられた言葉や行動です。

#### 会社の先輩からの言葉

「思い切り挑戦するといい。ただ、目標が達成されるまで何が何でも挑戦をやめずに食らいつく覚悟を持って行ってこい」(プロダクトマネージャー、30代男性)

#### 奥様からの言葉

妻に2時間コースで説明しようとしたところ15分くらいで「あんたは元々仕事に熱中するタイプだったし、ここで反対しても一生後悔してそうだから好きにしたら。」と言われた。(営業、30代男性)

#### 会社の上司からの言葉

「上司の俺でさえも引き留める理由がないと思う。頑張る。」(営業、20代男性)

#### お父様からの言葉

「憧れの人生だね」(マーケティング、20代女性)

#### 高校の先生からの言葉

先生は映画監督になるのが夢だった。それが叶わず教師になったが、授業というシーンを監督しているから形は違うが夢が叶って満足していると話してくれた。私も夢ややりたいことを持って仕事したいと思うようになった。(営業、40代男性)

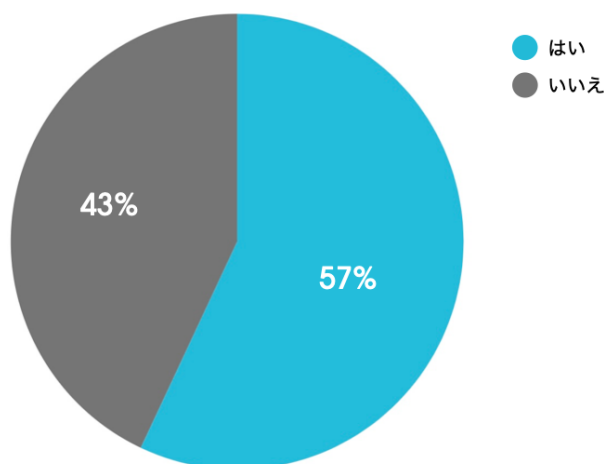
## 転職期間中に印象深い人にあつた事がある人は57%。転職トラップに遭遇したことがある人は33%

転職期間中に印象深い人にあつた事がある人は57%。出会った人については例えば、以下のような声が上がりました。

「部屋の壁紙にマジックで字を書き始めたと思ったら、それがホワイトボードになっていたこと。実際会話してみるととても面白く、面接のようで知的ディスカッションとなり非常に楽しかった。」(プロダクトマネージャー、30代男性)

「現在の会社の採用担当者さんで、今後の自分の人生について本気で考えてくれた。」(営業、20代男性)

### Q.転職期間中、面接や面談で印象深い人に会ったことはありますか？ (n=2,687)

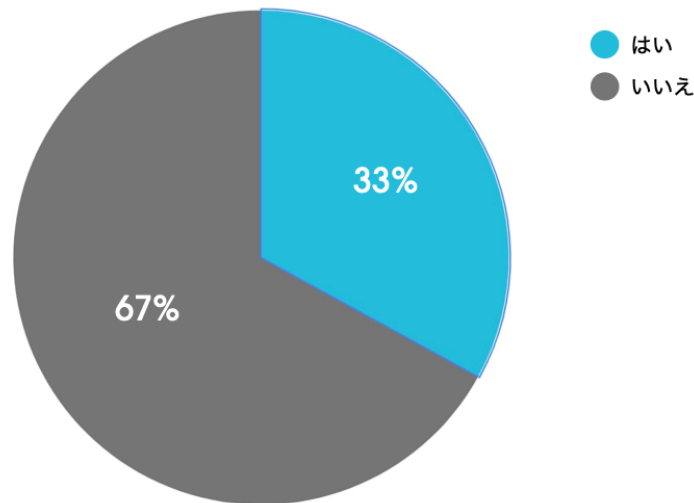


転職トラップ、つまり「転職活動における、予想外の障壁・問題やだまされそうになったこと」には33%が遭遇。具体的には以下のようなトラップがあったようです。

「矢継ぎ早に転職を進めるエージェント、実情を隠す会社。」(エンジニア、20代男性)

「英語不問と書かれていたが面接で英会話を求められたとき」(カスタマーサクセス、40代女性)

### Q.転職トラップに遭遇したことはありますか？ (n=2,687)



## SNS で大反響のエッセイ集『シゴトの#転職文庫』について

ウォンテッドリーは本アンケートに集まった2,687件の回答の中から特徴的な10のエピソードをピックアップ。ライター岡田悠さん、嘉島唯さん、島田彩さんなどプロの制作陣によって物語化したエッセイ集『シゴトの#転職文庫』を2022年8月4日に公開を開始し、本日最後の10作品目の公開が完了しました。

◆ 『シゴトの#転職文庫』ページ：

[https://www.wantedly.com/companies/wantedly/post\\_articles/414791](https://www.wantedly.com/companies/wantedly/post_articles/414791)





## ビジネス SNS 「Wantedly」の10周年について

ウォンテッドリーは2012年2月、ミッションである「シゴトでココロオドルひとをふやす」こと、つまり仕事に夢中になって成果を上げ、成長実感を得続ける人をふやすことを実現するためにビジネス SNS 「Wantedly」を登場させました。そして2022年2月、リリース時から1文字もその志を変えることなく10周年を迎えました。

2012年、気軽に会いに行ける会社訪問アプリ「Wantedly Visit」及び採用サービスの提供を皮切りに、2016年には出会いを記録し活躍を共有する「Wantedly People」を、2020年からは入社後の従業員の定着・活躍を支援する「Engagement Suite(エンゲージメントスイート)」をリリースしてきました。Wantedly がはたらくすべての人のインフラとなる世界の実現を目指し、Wantedly は進化を続けてまいります。

### ◆ 10周年ロゴについて

Wantedly の10周年を記念し、Wantedly ユーザーの皆さまへの感謝を示すべく、10周年ロゴを制作しました。2022年を通じて本ロゴを様々な場面で使用していきます。



ウォンテッドリーは、企業の潜在転職者への認知形成、共感を軸とした人と企業の出会いの創出を提供しながら、入社後の従業員の定着、活躍を支援するエンゲージメント事業を推進しています。今回のWantedlyの10周年を契機とした取り組みを通じて、Wantedly が「はたらくすべての人のインフラ」となる世界の実現を加速させてまいります。

## ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS 「Wantedly」を提供しています。2012年2月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数43,000社、個人ユーザー数350万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

### <会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社  
 URL : <https://www.wantedly.com>  
 本社所在地 : 東京都港区白金台 5-12-7 MG 白金台ビル 4F  
 代表取締役 : 仲 暁子  
 設立 : 2010年9月  
 事業概要 :

350万人以上が利用するビジネス SNS 「Wantedly」

- 気軽に会社訪問ができる Wantedly Visit
- 出会いを記録し活躍を共有する Wantedly People

ビジネス向け

- 採用マーケティング
- エンゲージメント Suite